

船の艦艇書

船の鑑定者：北オランダの都市グローニンゲン市の北マリティームミュージアム
前ディレクター T. HELPERI KIMM

*グローニンゲン市：グローニンゲン地方の都市

1084年に初めて文書に名が現れ、後にハンザ同盟に
加盟し、北ヨーロッパではその後もっとも重要な商業
都市となる。15世紀は黄金時代であった。

この船は非常に稀で宮廷のお祝いの催しごと、例えばロイヤルの訪問の際に使用された。
前所有者は EGMOND AAN ZEE という地方に住んでいた家族が100年近く所有していた。
下に記述される船は本物である事を照明する。

- 型 式 : 32の大砲を備えた快速帆船
年 代 : 1810年ごろ オランダ製
全 長 : 285cm 船体(船首像を含む) 200cm
高 さ : 240cm
幅 : 帆を含む 97cm (リンネルはオリジナル)
船体 56cm
下の部分はガラス板でカバー 白と黒に塗っており金メッキの装備
- 大 砲 : 書く大砲はガラス製で木製の装備台に備えてあり、使用可能
デッキ 2×3=6pcs (4pcsは後で追加)
船内 2×13=26pcs (6pcsは後で追加)
大砲の両サイドに穴があり、導火線使用で発射を連続に行う事が可能
装備台はファイアーダメージが起きぬ様ガラス板でカバーされている。
- 旗 : オランダの3色旗(2枚)これはオリジナルと同一の旗を後で追加
(オリジナルは存在していたが擦り切れていたため)
- バ ナ ー : 大きい赤いバナーはオリジナル
小さい青のバナーはオリジナル
- アンカー : 鉄製のアンカー 大2
小1
- 舵 装 置 : 動くラダーはオリジナルではない
- 船 首 像 : 木製ライオン 金メッキ
ライオンはすみれの花模様の盾を持っている。

- 船尾 : 装飾されていて開く事が出来、船体の内部が見える
(大砲、水、ポンプ2、階段)
- その他 : デッキの舵輪、船のボート等多くの部品は細かく作られている
デッキは全て(内部も含む)開く事が出来る
帆、帆柱類は85%がオリジナルである
- 修復 : 船の状態は良く、ペンキ、帆等全てオリジナルのままである
修復された部分又は失われていた部分は鑑定者が、有名な船の
模型修復の専門家 Mr.A.HOVING の助けをかりて修復したものである

* すみれはナポレオン・ボナパルトの好きな花だったので彼との関連が考えられる
理論的には1811年のオランダ訪問のために作られお祝いの催しがデンハーグの
宮廷であった際に使用された可能性がある。

アムステルダム 1997年2月21日
T. HELPERI KIMM

船の説明パネル付

